

単元名 情報社会を生きる ー情報を集めよう

配当時間 3時間

単元の目標 (1) 目的を設定し、情報収集の方法を考えて、情報を読み取ることができる。
(3) 様々な情報の集め方に興味をもち、目的に応じた集め方を知ろうとする。

標準的な展開例

10210114_001

【準備等】 百科事典

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 目的に応じた情報収集の仕方を知り、調べてみる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の学習課題をつかむ。 ★ 目的に応じた情報収集の方法を考え、調べよう。 ○ 自分の調べてみたいテーマを決める。 ○ 知りたいことについて百科事典を引き、全体像をつかむ ○ どの方法がよいかを考える。 ○ テーマについて自分の考えた方法で調べる。 <p>2 グラフや文章の中の情報を関連付けながら読み解く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習課題をつかむ。 ★ グラフや文章の情報を読み解こう。 ○ グラフの種類や特徴について知る。 ○ 情報を読み取る方法について知る。 ○ グラフや文章の中の情報を読み解く。 <p>3 情報の適切な引用の仕方を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の学習課題をつかむ。 ★ 適切な引用の仕方を考えよう。 ○ 集めた情報を引用しながら、分かったことや考えたことをまとめる。 ○ 参考文献の書き方を知る。 ○ 著作権について知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分に身近な話題や趣味、社会の出来事などからテーマを決めさせる。 ・ 短い言葉で説明された百科事典を効果的に使い、調べるテーマをさらに絞ることができることを確認させる。 ・ 本、インターネット、新聞、インタビュー、アンケートなどから自分のテーマにふさわしい方法を選ばせる。 ・ 図書室やコンピュータ室などを使用して、テーマを調べ、短い記事にさせる。 ・ 引用の際には出典などを明記するようにさせる。 <p>【評】 自分のテーマについて方法を選んで調べる活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「グラフの種類」(p. 62)を参考に、グラフの種類や特徴について理解させる。 ・ 「グラフを読むときの留意点」(p. 62)を参考に、情報を読み取るときの留意点を理解させる。 ・ 「やってみよう」(p. 63)で、複数のグラフや文章の中の情報を関連付けながら読み解かせる。 <p>【評】 情報を読み解く活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第1時で集めた情報を活用する。 ・ 「引用の例(レポート)」「引用のしかた」(p. 65)を参考にさせる。 <p>【評】 情報を引用しながらまとめる活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「引用元(出典)」(p. 64), 「出典の示し方」(p. 65)を参考にさせる。 ・ 著作権の定義や、著作者の許可が必要ない場合について確認する。

【 備 考 】

中学校での本格的な国語学習として、このまとまりでは、説明文の読みや記録の仕方の工夫について練習するなどして、説明や記録の基本的な事項について考えていく。現行の学習指導要領の特徴の一つは表現の工夫を読み取ることにあり、そこに焦点化する最初の学習となる。展開の違う二つの文章を読むことを通して、表現の工夫に気付かせたい。

また、好きなものを紹介する活動や情報の集め方を知る活動は、より広く多様なものの見方などに触れることができる。「情報社会を生きる」では、中学校での情報活用能力についての学習の基本として押さえておきたい。